

山江村 “^{とき}時代の暦”

昭和47年 万江川のホタルを東京の子供たちへプレゼント

昭和47年は、戦後昭和史の中でも大きな出来事が際立った年である。

2月3日にはわが国初の開催となった札幌冬季オリンピックが開幕し、同じ月の19日には連合赤軍による浅間山荘籠城事件が発生、国民の多くがテレビに見入った。3月15日、大阪 岡山間の山陽新幹線が開通、5月13日、大阪千日デパートビル火災により118人死亡、5月15日、沖縄返還により沖縄県発足、7月7日佐藤首相退陣を受け田中角栄内閣発足、11月5日、上野動物園のパンダが初公開など、政治・社会何れも話題満載である。ピンカラトリオの“女のみち”や“瀬戸の花嫁”がヒットし、書籍では有吉佐和子の“恍惚の人”、田中角栄の“日本列島改造論”が話題を呼び、テレビでは天草を舞台にした朝の連続ドラマ“藍より青く”や大河ドラマ“新平家物語”などが人気を博した。

山江村に目をやると、6月にホタル200匹が東京の小学校2校の児童たちとの友情の使者となり、東京の空にあの灯りをともしてくれたという嬉しい話題がある。2月10日、林業新興を図



るため、「山江樹芸生産組合」が結成、4月5日、沢田熊本県知事が山江養魚場視察のため初来村、大歓迎に応じて懇談会ではマイクを握ってかくし芸までされたとのこと。4月11日、前年度に誘致工場として進出が決まったニッシンシルクの新入社員の入社式、6月12日、集中豪雨の影響で道路損壊40箇所、橋梁流失3箇所など4千万円の被害、5月2日、エノハ(ヤマメ)を観光資源にしようと、「万江川エノハ振興会」が発足、この年の村の一般会計予算は279百万円、現在の約10分の1である。

また、現在温泉センターで飼育されている「クロハゲワシ」が生け捕りにされたのもこの年だ。

雑誌モデルの撮影場所になりました！

熊本美少女図鑑という雑誌のモデル撮影場所に「時代の駅むらやくば」が選ばれました。

熊本美少女図鑑は、熊本在住のモデルに、熊本の街並みをロケーションとして撮影するファッション誌です。

今回は、人吉市にある美容室「HAIR ant (ヘアアンツ)」さんのご相談があり、当法人の理事が「時代の駅むらやくば」をおススメしたところ大変気に入られて撮影場所に決定しました。

撮影は9月10日に行われ、時代の駅むらやくばが熊本市のきれいなモデルさんを上手く引き立ててくれました。



同じように



当法人の川口理事が11月に結婚しました。結婚するにあたり、「時代の駅むらやくば」で前撮り撮影を行いました。

撮影は10月4日に行われ、その頃はちょうど「時代の駅むらやくば」がオレンジのコスモスに包まれる頃。まるで2人の結婚を祝福しているかのような時代の駅でした。

発行：NPO 法人かチャリンクやまえ
〒868-0092 熊本県球磨郡山江村山田甲 1415
0966-35-7000 fax 0966-35-7001
email kachari.yamae@gmail.com

かちやり便り

第2号

お雛さまランチ～やまえ de ひなまつり～

時代の駅むらやくば1階の「やまえのまんま」では、今年も2月15日から「お雛さまランチ(要予約)」を提供します。是非ご賞味下さい。

今年も皆様の健康づくりを応援する「やまえのまんま」へのご来店をお待ちしております。



営業時間 11:30～14:00

お雛さまランチお品書き

(菜) わけぎのぐるぐる	(野) 春野菜の白あえ
(煮) ヤマメの甘露煮	(揚) 季節の天ぷら
山菜の煮しめ	(小) 栗とうふ
(焼) 卵焼き	(飯) ちらし寿し
(甘) 淡雪寒	吸い物

夜の宴会も承ります(要予約)

「串山しづ子押し花展」開催中 ～ギャラリー喫茶コーナー～

昨年11月1日にオープンした「時代の駅ギャラリー」では、12月いっぱいまで山江村在住の岩本妙子さんの「ちぎり絵」を展示していましたが、1月4日から2月20日まで串山しづ子さん(芦北町在住)の押し花展を開催しています。丁寧な作業によって生まれる押し花アートをどうぞご堪能下さい。

喫茶コーナーでお茶を飲みながら、アートを楽しむ時間をおつくりになりませんか。お待ちしております。



「何でもかちゃりましょう」を合言葉に！～新かちゃりの日活動報告 Vol. 2～

9月から新しくなったかちゃりの日では、今回もいろいろなことをかちゃりました。

10月は、山江村の風景と記念日を記した山江村独自のカレンダーをつくらうと、「時代(とき)の暦制作ワークショップ」を開催しました。自分たちの思いつく山江村の歴史的記念日をKJ法(カードを使ってまとめてゆく方法)形式で出し合いまとめていきました。今後も継続して進め、平成24年版のカレンダー完成を目指します。

11月は、会員もなかなか理解できていない特定非営利活動法人(NPO法人)について、「NPO活動についてとことんかちゃろう会」と題し勉強会をしました。かちゃリンクやまえが進んでいく方向を会員一人ひとりが理解し、さらに協力していくことを確認できました。

12月は2回開催し、21日に会員相互の親睦を深めるためクリスマス会を企画し、賛美歌を合唱したりと楽しいひと時を過ごしました。2回目は28日に時代の駅むらやくばの大掃除と、餅つきを行いました。窓や壁、玄関など小雨の降る中、隅々まで清掃し見違える程きれいになりました。また大掃除と平行して餅もつかれ、合いの手にあわせ心地よい杵の音が響き、とても美味しそうな餅がつきあがりました。鏡餅も作り新年を迎える準備ができました。

2011年もさらにNPOが飛躍するように、新かちゃりの日を充実していきたいと思いますので、皆さんもどうぞ気楽に参加してください。

「かちゃり」とは、協働の精神をもってお互いを助け合う、球磨地方の方言です。

“地域づくりはひとづくり”

今年の5月13日～15日に第29回地域づくり全国研修大会熊本大会が開催されます。

人吉球磨で30を超える団体が始めて一堂に会して、それぞれの取り組みを知り、今年の大会に向け、1年前に実行委員会を立ち上げ、準備をしてきました。食をテーマに活動されているグループや祭りや文化財を守られているグループ、地球環境を取り組まれているグループ、町並みを生かして世代を超えたまちづくりを実践しているグループ、情報発信を通じて交流しているグループなど幅広い活動、幅広い世代のひとたちが、すぐ近くにいることを改めて実感しました。それぞれが得意な分野を生かして、全国からこられる“地域づくり”の同士へのおもてなしを考えています。

今回の熊本大会は全国でも初めての「熊本方式」で、初日と中日は県内11箇所に分科会を開催して、最終日に熊本市に集まって分科会での成果や問題定義などを発表する形をとります。あくまでも観光ではなく、全国の同士が、それぞれの活動や問題点を共有しあえるように、交流できるようなプログラムにし、もちろん夜は焼酎を飲みながら夜なべ談義を計画しています。

NPO かちゃリンクやまえも昼食の提供とグリーンツーリズム協会と協力して農家民泊を担当します。今回の活動や農家民泊に興味のある方はNPO かちゃリンクやまえに連絡していただいて、ぜひご参加またはご協力していただきたいと思います。

“地域づくりはひとづくり”のテーマのもと原点に立ち返り、地域の方々、全国の方々と出会い、交流の中で“ひと”とのつながりを大切に、情報の双方向な共有が出来ればと思います。

(地域づくり団体全国研修交流会熊本大会 人吉球磨実行委員長 横山浩之)



～シリーズお店紹介～ 山江村山田味園

サロンド節子さん

「サロンド節子」と言うよりも

「パーマの節ちゃんぎゃ」のことで。

節ちゃんは、熊本の美容学校等で修行後、一丸の宮原商店の一角で「丸み美容室」として開店。当時19歳でした。

その後結婚され、平成元年に現在地『山江郵便局』隣に新築移転と同時に、店名も『サロンド節子』と、しゃれた店名にされました。

これまで、ようがまだして、頑張ってきたなあ、お客さんにも良く可愛がっていただき、大変感謝しています。と当時を振り返っておられました。

現在は、長女の里美ちゃんもスタッフに加わり、一段とにぎやかなお店になったようです。里美ちゃんは、熊本の美容学校等で5年間修業され、昨年5月から当店の「看板娘」となり、楽しいお店づくりに頑張っておられます。人生経験豊かなお客様はベテランの節ちゃんが担当し、おしゃれな若い人は里美ちゃんが担当する等、子供から高齢の方まで、お任せください。



『サロンド節子スタッフより』

パーマ・カット(男性もOK)・カラー・着付け・婚礼など、美容のことなら何なりとお申し付け下さい。なお、営業時間もお客様の都合の良い時間を予約頂くと、何時でもご利用いただけます。送迎希望の方は連絡下さい。喜んでお迎えにまいります。

皆様のご来店をお待ちしております。

『紹介者より一言』

ぎゃー可愛い里美ちゃんが待ってます。是非一度行って見て下さいね。

「球磨弁講座：この場合のぎゃーはすごくと言う意味です」

こそっと聞いて来ましたが、只今恋人募集中のようですよ！

お問い合わせは：サロンド節子 電話：24・6141まで

? 今回のお店紹介者はNPO会員 & 同級生・中竹幸利でした。

山江の地図を掲載した包装紙が完成しました！

一昨年作成した「山江村ぶらっとマップ - 時代の駅周辺 - 」と去年作成した「山江村ぶらっとマップ - 万江編 - 」を掲載した包装紙が完成しました。

この包装紙に地図を掲載するという方法は、長野県美麻地区からヒントを得たものです。この包装紙を使うことで、観光された方は山江村のことを思い出すきっかけにつながりますし、旅の思い出もより深く残ることでしょう。もしかしたら、まだ見えていない場所を発見してまた山江村にやってくるかもしれませんね！

包装紙は物産館や村の商店に配布する予定ですので、遠方の方に贈り物をする際には是非ご利用ください。

